

未来へつなぐ大切な

コロナ禍で祭りの中止が相次ぎますが、祭りに込められた意義や思いは途切れることなく受け継いでいきたい! 市民ママライターが、市内の祭り関係者を直撃取材していきます。

第4回

かめやまはちまん
龜山八幡神社(佐木島)
おゆみしんじ
『御弓神事』

開催時期.. 例年2月11日(祝)

特徴..恵方えほうと逆の方角に設置したま弓を射ることで邪を払い、1年の無事と豊年を祈願する行事

芸予諸島に見られる
厄払いの神事

神社の竹で作った
手作りの矢を配る

弓を使った祈禱は、瀬戸内沿岸部の神社に多くみられる神事で、佐木島にある亀山八幡神社もその一つ。毎年初祈禱のあと、境内でとり行われます。「その年の恵方と逆の方角の位置に大的おおまと・小的こまとの二つを据えるんですよ」。

宮司の山田さんの狙う的は直径40センチの小的。「弓を射ることは、その年の厄払いの意味合いがあるので、はずせません」。その日は相当なプレッシャーなのだそう。

の年1年のお守りに、神社の竹を使った矢も配られます。これは毎年交代する神社の祭事のお世話をする頭屋組とつぐみが1本1本手作りするものです。「矢は翌年の節分祭で神社に返して、また御弓神事

のときに新しいものをもらいます」と話されました。



この神事は、三原市無形民俗文化財です。
御弓神事では、一般参拝者も弓を射ることが
できますよ。

(右から) 区長 小谷章一さん 宮司 山田 修さん
ボランティアガイド 山本宣善さん

「三原市公式note」
で記事掲載中!



第4回

市長
受駁

笑顔で新たなステップへ進めますように

新年あけましておめでとう
ございます。本年も、よろしく
お願いいたします。

家族や親戚などの身近に、受験生がいれば、受験が話題になることも少なくないかもしれません。

受験生の皆さんの中には、気合十分の人、憂鬱ゆううつな人など、さまざまだと思います。

私が受験生のころを思い出すと、つついり周りのことが気になってしまい、ほかの受験生は着々と準備が進んでいるの

に、自分だけおいていかれるような不安な気持ちになつていたことを思い出します。

そういうときは、「他人は他人、自分は自分」と割り切ってたんたんとやるべきことに徹することです。

受験生本人はもちろんのこと、家族にとつても心配が尽きないと思いますが、受験を通

して成長することで、笑顔で新たなステップに進んでいけることを心から祈っています。



国際交流員
横川あいさん



三原市初!ハワイ出身の
国際交流員コラム

Vol.4

台湾フェスティバルに参加しました!

すなみ海浜公園で開催された「台湾フェスティバル」にボランティアとして参加しました。フェスティバルは長い列ができるほどの大人気で、多くの人が台湾料理などを楽しんでいました。今回は地元の人たちと台湾出身の人たちが一緒になって台湾の魅力を伝えるために催しを企画されました。このイベントは多文化共生の意識を深められるとても良い機会だと思います。私も国際交流員としてこのような機会を増やしていきたいです。

フェイスブック
Facebookを使って日本語と英語で情報を発信中!



↑ 國際交流員
Facebook

国際交流員が日本語と英語で情報発信するFacebookページを始めました。市の魅力や日常生活を通して気づいた文化の違いなどを発信予定。国際交流員の活動や文化イベントの情報も掲載していきます。ぜひフォローしてくださいね！

●外国人相談窓口(市役所本庁4階)

問経営企画課(☎0848-67-6270 FAX 0848-64-7101)